



感動の山菜採り体験

やまがた川西の奥座敷で

旬を摘み旬を食す



雪国にも、山笑う季節がきました。山菜を採る喜びを味わい、山形の食文化について学ぶ *Special* な2日間です

笹 巻 [ささまき]

各家庭で作られるこの地域の旬の郷土料理。

旧節句、ちようと山の笹の葉が大きくなる頃に、笹の葉二枚を使い、

中にもち米を入れ煮たもので、きな粉をつけて食べます。

もちもちとした食感と、笹のいい香りときな粉の甘味が絶品です。

- 二日目に笹巻作り体験を行います -

さなふり

田植えがひと段落すると同時に、田の神も水田からあがると

伝えられています。[田のことをサと呼んでいた一サノホリ-さなふり-]

田の神と、田植え作業のねざらいを込めてごちそうをふるまう、

さなふりという行事が今も行われています。



畑から採るで、
おいしい体験

わらわらび

わらわらび

山菜のツブ抜き方法のレクチャー
あります



落しツブ

山形に行こう！

2014年 **6月7日(土) ~ 8日(日)**

会場 山形県東置賜郡川西町内

【発 着】JR米沢駅西口

【宿 泊】浴浴センターまどか

【参加費】大人 (中学生以上) 10,000円 / 小人 (小学生) 5,000円 ※1泊4食

【募集人数】10名 (先着順) 【応募締切】2014年5月30日 (金)

【お問合せ】やまがた里の暮らし推進機構 ☎ 0238-54-3006

◎詳しい日程については裏面をご覧ください。

◎未就学児の参加・同伴は、安全上の理由によりご遠慮いただいています (今回はごめんなさい)





感動の山菜採り体験

やまがた川西の奥座敷で

旬を摘み旬を食す



NPO法人 玉庭いこいの里
代表 伊藤健一 氏

今回おじゃまするのは玉庭いこいの里さん所有の「観光わらび園」です。わらびの採り方や、山のこと、眼光沼伝説などなど、いろんなことを教えてください。



服装・持ち物

○服装

山歩きが出来る格好が理想ですが、動きやすい服装であれば結構です。

○靴 (足首まで覆える、ソールの硬いもの)

スニーカーや運動靴でも大丈夫ですが、底が厚く足首を支えられる物の方が疲れにくく、より安全です。 ○合羽 (小雨決行)

○帽子・着替え・タオルなど。○貸出用長靴あります。事前にお申し出ください。

楽しいよ!



山形県川西町

川西町は山形県南部、置賜地方の真ん中に位置し、周囲を吾妻、飯豊、蔵王、朝日の山々に囲まれています。

青く高い空、透き通った風。

広大な田園と散居集落が織りなす原風景の中で伝統や文化を育みながら栄えてきた町です。

1 日目 【6月7日(土)】

11:20 米沢駅西口 集合

(参考: 新幹線つばさ 131号
9:24 東京発 → 11:20 米沢着)

(昼食) 郷土料理たっぷりのお弁当

(体験) わらび園で **わらび採り**

地元ガイドが同行し、山菜の採取方法など詳しくご案内いたします。

(夕食) **山菜料理と地酒で交流会**

米どころ川西産のお米も召し上がれ

(宿) 川西温泉でお寛ぎください

浴浴センターまで宿泊

2 日目 【6月8日(日)】

(体験) **山形川西 食文化レクチャー**

↓ 笹巻きづくりに挑戦!

(昼食) **古民家でお昼ごはん**

↓ のんびりした雰囲気をお楽しみください。

(お買いもの) **お土産など**

14:38 米沢駅西口 解散

(参考: 新幹線つばさ 144号
14:38 米沢発 → 16:48 東京着)

※ご自宅から米沢駅間の移動は、各自ご負担ください。
※天候等により、内容が変更になる場合があります。



【鉄道利用】東京駅 → (山形新幹線120分) → 米沢駅

【自動車利用】川口IC → (東北自動車道265キロ約200分) → 福島飯坂IC → (R13/40キロ約60分) → 米沢市内 → 米沢駅

【お問合せ】

やまがた里の暮らし推進機構 ☎0238-54-3006 (平日8:30~17:15 (土日祝休))

〒999-0214 山形県東置賜郡川西町大字吉田4690 / FAX 0238-54-3007 / E-mail: info@satonokurashi.jp

http://www.satonokurashi.jp/



やまがた里の暮らし大学校